

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月3日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 久野 修慈
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,208	10.0	549	△22.9	560	△17.9	349	△18.3
2022年3月期第3四半期	19,271	5.3	712	△17.4	683	△18.7	427	△21.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 623百万円(109.7%) 2022年3月期第3四半期 297百万円(△51.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	12.83	—
2022年3月期第3四半期	15.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,897	10,881	42.0
2022年3月期	26,114	10,379	39.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,881百万円 2022年3月期 10,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,300	0.7	460	△43.0	510	△43.8	330	△45.9	12.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	35,000,000株	2022年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	7,696,676株	2022年3月期	7,773,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	27,264,405株	2022年3月期3Q	27,189,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国の新型コロナウイルス感染症対処方針に基づく行動制限が緩和され、個人消費は持ち直しの動きがみられました。一方で、不安定な国際情勢を受けたエネルギー価格や原材料価格の高止まり、さらには歴史的な円安により内外経済の先行きに対する不透明感が一層増している状況にあります。

このような環境の中で、当社および当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員およびその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を、非常時においても安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）が19.42セントで取引を開始した海外原糖市況は、ロシアのウクライナ侵攻に起因する原油価格高騰を受け、砂糖主要生産国であるブラジルにおいてさとうきびを原料とするエタノール生産比率の上昇観測が高まり、砂糖生産量の減少が懸念され、20セント台をつけるなど相場は高値で推移しました。原油価格の高騰が一服した後も、インドやタイで多雨によりさとうきび圧搾作業が遅延し、砂糖の供給不足が懸念され相場は高値圏を維持しました。12月中旬に2017年以来となる21.18セントの高値をつけ、結局20.04セントで当第3四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初204円～205円で始まり、海外粗糖相場の高騰や海上運賃の上昇、急激な円安の影響を受けた結果、8月上旬に216円～217円に値を上げ、同水準のまま当第3四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売のうち、家庭用製品では量販店における特売の減少等の影響を受け低調に推移しました。業務用製品については人流回復により外食産業向けや土産品等向けが復調、飲料向けユーザーへの販売も好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は19,768百万円（前年同四半期比10.9%増）、原材料コスト等の上昇に伴いセグメント利益は990百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門では、前期においてオリゴ糖が人気TV番組で紹介されたことによる特需への反動があったものの、整腸に対する消費者ニーズの高まりを背景とするオリゴ糖の底堅い需要から大容量タイプの売上が当期にも伸長し、各種販促活動を強化したことで売上高は前年同四半期並みを確保しました。

ビーツ部門は、前期に引き続き大学駅伝における名監督原晋氏を広告宣伝に起用するなど積極的な販促活動を行い、ドリンクタイプはECサイトでの販売を中心に堅調に推移しております。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は1,407百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は354百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は100百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は46百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,208百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は549百万円（前年同四半期比22.9%減）、経常利益は560百万円（前年同四半期比17.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は349百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて133百万円減少し、8,838百万円となりました。これは主に、現金及び預金が914百万円減少し、受取手形及び売掛金が647百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて83百万円減少し、17,059百万円となりました。これは主に、有形固定資産が264百万円減少し、投資有価証券が280百万円、長期貸付金が40百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて216百万円減少し、25,897百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて719百万円減少し、15,016百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が397百万円増加した一方で、長期借入金が1,346百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて502百万円増加し、10,881百万円となりました。これは主に、利益剰余金が199百万円、その他有価証券評価差額金が280百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,533	2,618
受取手形及び売掛金	1,726	2,373
商品及び製品	1,301	1,254
仕掛品	152	215
原材料及び貯蔵品	1,125	1,159
その他	1,133	1,216
流動資産合計	8,972	8,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,192	10,209
減価償却累計額	△7,399	△7,577
建物及び構築物(純額)	2,793	2,632
機械装置及び運搬具	12,101	12,263
減価償却累計額	△10,260	△10,467
機械装置及び運搬具(純額)	1,840	1,796
工具、器具及び備品	431	425
減価償却累計額	△377	△373
工具、器具及び備品(純額)	53	52
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	76	18
有形固定資産合計	9,998	9,734
無形固定資産		
ソフトウェア	28	22
ソフトウェア仮勘定	4	—
その他	6	6
無形固定資産合計	38	28
投資その他の資産		
投資有価証券	4,781	5,062
長期貸付金	1,477	1,518
繰延税金資産	772	618
その他	72	97
投資その他の資産合計	7,104	7,296
固定資産合計	17,142	17,059
資産合計	26,114	25,897

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883	1,281
短期借入金	4,800	5,150
1年内返済予定の長期借入金	2,748	2,600
未払法人税等	128	49
未払消費税等	39	170
賞与引当金	65	30
その他	937	1,036
流動負債合計	9,602	10,317
固定負債		
長期借入金	5,528	4,182
退職給付に係る負債	372	283
その他	232	232
固定負債合計	6,132	4,698
負債合計	15,735	15,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	12,099	12,299
自己株式	△2,976	△2,946
株主資本合計	11,115	11,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△734	△454
繰延ヘッジ損益	0	△3
退職給付に係る調整累計額	△1	△5
その他の包括利益累計額合計	△736	△462
純資産合計	10,379	10,881
負債純資産合計	26,114	25,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	19,271	21,208
売上原価	16,308	18,418
売上総利益	2,963	2,790
販売費及び一般管理費	2,251	2,241
営業利益	712	549
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	112	126
その他	15	31
営業外収益合計	147	179
営業外費用		
支払利息	76	66
持分法による投資損失	70	95
支払手数料	29	5
その他	1	0
営業外費用合計	176	168
経常利益	683	560
税金等調整前四半期純利益	683	560
法人税、住民税及び事業税	224	177
法人税等調整額	30	33
法人税等合計	255	211
四半期純利益	427	349
親会社株主に帰属する四半期純利益	427	349

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	427	349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	279
繰延ヘッジ損益	1	△3
退職給付に係る調整額	5	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	△130	273
四半期包括利益	297	623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297	623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	17,805	1,378	—	19,184	—	19,184
その他の収益(注3)	—	—	87	87	—	87
外部顧客への売上高	17,805	1,378	87	19,271	—	19,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	30	12	63	△63	—
計	17,826	1,409	99	19,335	△63	19,271
セグメント利益	1,148	386	45	1,580	△868	712

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

ず。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	19,747	1,372	—	21,119	—	21,119
その他の収益(注3)	—	—	88	88	—	88
外部顧客への売上高	19,747	1,372	88	21,208	—	21,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	35	12	69	△69	—
計	19,768	1,407	100	21,277	△69	21,208
セグメント利益	990	354	46	1,391	△841	549

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

ず。